

# ドイツゲームに縄文体験

# あそびフェスタin洞爺湖 児童ら夢中 縄文の日体験イベント

あそびフェスタinとうや湖（とうや湖レクリエーションクラブ主催）と縄文の日体験イベント（洞爺湖町教育委員会主催）が5月13日、午前と午後に分かれて実施され、子どもたちは、ドイツゲームや縄文体験を楽しみました。

午前中に母と子の館で開かれたあそびフェスタでは、小学生など36人が参加。最初のドイツゲーム大会では、幼児から遊べるとても簡単なものから推理力などが必要となる小学校高学年向けの複雑なものまで難易度に合わせた5種類が用意され、子どもたちは気に入ったゲームに熱中していました。最後は、体育館に移動して手つなぎ鬼ごっこで体を動かし汗を流しました。

アプタ・フレナイの会から提供された特製ホタテ汁で昼食をとった後、会場を入江・高砂貝塚館に移し、縄文の日体験イベントを開催。自分の好みに合わせて勾玉や耳飾りづくり、土器・土偶づくりに、火おこしや弓矢の5つの体験を楽しく回りました。



ドイツゲームを楽しむ子どもたち



耳飾りづくりに取り組む子どもたち

## コープさっぽろの会員らアオダモ400本植樹 三豊の町有林で森づくり植樹祭実施

洞爺湖町と森林整備についての協定を締結している生活協同組合コープさっぽろが5月15日、三豊地区にある町有林で、「コープ未来（あした）の森づくり植樹祭」を行いました。54人のコープ会員が参加し、環境保全活動に取り組みました。

同事業は、コープさっぽろのお店でレジ袋をもらわないと0.5円が基金に積み立てられる仕組みで、その基金で北海道の森づくりに役立てようとするものです。

当日は、アオダモ400本を植樹。室蘭市の小学1年生の男子は「4本植えて大変だったけど、おもしろ



アオダモの苗木を植樹する参加者

かった」と初めての植樹を楽しんでいました。



洞爺湖にサクラマスの子魚を放流する温泉小の児童たち

洞爺湖漁業協同組合（篠原功組合長）が実施しているサクラマスの放流が、

5月22日とうや小学校と洞爺湖温泉小学校の児童を招き行われました。

洞爺湖の豊かな自然に親しんでもらおうと毎年実施。今年は各小学校で、5～6センチほどに育った稚魚合わせて約1万匹を放流しました。

洞爺湖温泉小学校では、同小近くの湖畔で1、2年生10人が参加。児童らは、プラスチックカップに移し替えた稚魚を「頑張っておおきくなってね」と願いを込め湖に放ち、4年後の成長を楽しみにしていました。

## 「おおきくなってね」 洞爺湖にサクラマス放流

